

## 2012年度「未成年者飲酒予防基金」活動報告

### 足立区立第一中学校

『未来の僕らへ - 交通安全教育や薬物乱用防止教育とのコラボ - 』

#### 1. はじめに

本校の教育目標は「心身ともに健康で 学び続ける人、思いやる人」となっており、「心身ともに健康」であることを大前提とした教育活動を展開している。学校経営計画の中の「めざす学校像」の1つには、「健康教育をすすめて、心身ともに健康な生徒をはぐくむ学校」を掲げ、歯科保健教育をはじめとするさまざまな健康教育を推進している。また、本基金による活動は2年目となった。

そこで、毎年第1学年を対象に実施している「喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育」や第2学年対象の「性に関する健康教育」をはじめ、交通安全教育、NIE教育等とのコラボレーションによって「飲酒」と関連させた内容を意図的に取り入れることで、より一層「未成年者飲酒予防」に関する知識・理解を深めるとともに、生徒が自分の将来をしっかりと見据えて、「アルコールに依存しない生き方」や「健康的な生き方」を選択したいと考える力をつけさせたい。

#### 2. 研究・活動内容

##### (1) アンケート調査の実施(9月、1月)

生徒健康委員会の活動として、全校生徒対象に「飲酒問題」に関するアンケート調査を9月と1月の2回実施した。また、昨年度の調査結果との比較も行った。その中で、「20歳になるまで、絶対に飲まない自信がある」と回答した者は、43%で昨年度より5ポイント増となった。

##### (2) 「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育」(第1学年)

覚醒剤等の薬物、たばこ、アルコールの害に関する調べ学習

学校薬剤師による「薬物乱用防止教室」の開催

アルコールの害、たばこの害に関する教育DVDの視聴

「絶対に手を出したくない!」と思わせるポスターの作成と発表、掲示

「きっぱり断る」ためのコミュニケーションスキルや意志決定スキルの学習

##### (3) スタントマンによる交通安全教育(7月)

歩行者の交通安全、自転車の安全な乗り方、飲酒しての運転(自転車・自動車)の危険性について、講話の他、スタントマンによる演技から学ぶことができた。

<参加者>

全校生徒、教職員、保護者、開かれた学校づくり協議会、千住警察署等

##### (4) 未成年者飲酒予防キャンペーン(12月)

全体テーマ;『未来の僕らへのメッセージ 飲酒問題を考える 』

生徒健康委員会による発表 テーマ;「アルコールの危険性」

講演会

テーマ;「未成年者飲酒予防 メディアリテラシーの視点から 」

講 師；公益財団法人日本学校保健会事務局長 並木茂夫 氏

<参加者>

全校生徒、教職員、保護者、開かれた学校づくり協議会、保健センター等

(5) 文化祭での取り組み

生徒健康委員会の活動として、9月の「飲酒問題」に関するアンケート調査やアルコールの危険性に関する実験を行い、その結果速報について展示した。

(6) ポスター制作

夏休みに「交通安全ポスター」や「未成年者飲酒予防のポスター」制作を全校生徒対象に美術科からの課題とした。その中から、区内展覧会入賞作品を写真印刷して、1月末に町内会や地元商店街、最寄り駅等にパンフレットとともに配布して啓発活動を行った。

(7) 「自分で作る“一中、弁当の日”」

自尊感情や自己有用感を高めるための1つの取り組みとして、4年前よりPTAとの連携による「自分で作る“一中、弁当の日”」を実践している。「食」にかかわる諸問題のみでなく、家族との絆を深める機会となっている。

(8) 「生き方を探る 性に関する健康教育」(12月)

命の尊さや男女の心身の発達についての理解を深めることを主なねらいとして、東邦大学医学部看護学科の協力を得て、第2学年を対象に性に関する健康教育を実施している。その中で、女性や未成年者の飲酒問題に触れるとともに、健康的な生き方の素晴らしさについて考える機会となっている。

講演会 テーマ；「いのちのバトン」

講 師；東邦大学医学部看護学科教授 齋藤益子 氏

(9) NIE実践

新聞記事を読み解く力をつけることを主なねらいとして、全校生徒を対象に、年に2回のNIE週間を設定した。その中で、飲酒関連や健康問題の記事にも着目させ健康意識の向上を図った。

(10) PTA学年保護者会

各学年別の保護者会の際、未成年飲酒に関する大人の責任や本校生徒の意識・実態について、学年主任及び養護教諭が報告し保護者への啓発活動を行った。また、新入生保護者説明会の場においても昨年同様、本校の未成年者飲酒予防に関する活動内容を紹介する予定である。

(11) 研修会への参加

次の研修会にのべ13名の教職員が参加して、各研修内容を校内研修会で伝達するとともに、研修会テキストの回覧を行った。

平成24年度日本学校保健会夏季セミナー「未成年者飲酒予防研修会」(8月)  
J K Y B ライフスキル教育研究会2012ワークショップ東京(12月)

### 3. 研究成果

生徒対象のアンケート調査結果からわかるように、未成年者の飲酒に「NO!」という意識はかなり高まっており、特に昨年度との比較からも顕著であった。これは、この2年間に於ける「未成年者飲酒予防キャンペーン」などの特別な活動内容のみでなく、学校教育の全体を通じたあらゆる場面において「飲酒」と関連する内容を意図的に取り入れてきた結果だと思われる。

来年度以降も、第1学年対象の「喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育」を継続すると

ともに、定期的に教職員への研修機会を設定したり、学校保健委員会やセーフティ教室においては隔年で「飲酒」に関する内容をテーマとして取り上げたりして未成年者飲酒予防についての啓発活動を継続していく。